



たびとしょ Cafe

旅の図書館では、観光に関わる皆様の交流を深めていただくことをねらいとして、「たびとしょ Cafe」を開催しています。



第6回

いま伝えたい「日本」とは

～ 1920-30年代の日本の観光ポスターから考える ～

ゲストスピーカー：木田 拓也 氏

(東京国立近代美術館 工芸課主任研究員)

インバウンド政策への注目が年々高まっていますが、戦前の日本では観光政策の中心にありました。東京国立近代美術館の企画展「ようこそ日本へ 1920-30年代のツーリズムとデザイン」(会期：1/9～2/28)では、インバウンド黎明期の観光ポスターやガイドブック、雑誌の表紙・挿絵などを飾った画家たちの作品127点が展示されており、当財団も「旅の図書館」の所蔵図書(古書)を提供し展示に協力しました。当時の作品では、観光産業を牽引していた運輸産業の勢いや美しい日本のイメージなど、世界に伝えたい日本が躍動感を持って表現されています。

今回は、同企画展の担当学芸員である木田氏をお迎えし、当時の観光ポスターを通して、日本が自国をどう捉え、どう発信してきたのか、さらには、情報があふれる現代において「伝える」ことの意味を考えてみたいと思います。同企画展で展示された旅の図書館所蔵の古書などもあわせて紹介します。



日時 2016年3月15日(火) 17:30～19:30

場所 (公財)日本交通公社 大会議室
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1

朝日生命大手町ビル17階

※旅の図書館ではなく財団本部で開催いたしますので、ご来場の際にはご注意ください。

対象 観光研究者、学生、観光実務者

(観光行政に関わる方、地域の観光関係者)など

定員 20名程度(先着順)

参加費 500円(お1人様/軽食・飲み物付き)

※当日受付でお支払いください。

申込方法 お申し込みはメールにて受け付けています。(定員になり次第締切)

確認後、事務局より返信します。返信までに2～3日かかることがありますので、あらかじめご了承ください。

【メールの場合】

件名を「第6回たびとしょ Cafe 申込」として、①お名前(ふりがな)、②ご所属・役職名、③電話番号、④メールアドレス、⑤講師への質問、の5点を記載の上、tabitosho@jtb.or.jp(旅の図書館たびとしょ Cafe 事務局)までメールでご連絡ください。

【FAXの場合】

本紙裏面に上記全ての事項をご記入の上、03-5255-6077までお送りください。



※2016年夏の移転オープン準備のため、旅の図書館は一時閉館とさせていただきます。

主催・問い合わせ先：公益財団法人日本交通公社 たびとしょ Cafe 事務局 担当：福永・大隅・泉

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル17階

TEL: 03-5255-6103 FAX: 03-5255-6077 E-mail: tabitosho@jtb.or.jp

◆ゲストスピーカー プロフィール

木田 拓也 氏

石川県生まれ。文学博士。1993年早稲田大学第一文学部卒業後、佐倉市立美術館学芸員。1997年、東京国立近代美術館（工芸館）研究員。現在、同美術館工芸課主任研究員。

主な著書として『工芸とナショナリズムの現代 「日本的なもの」の創出』（吉川弘文館、2014年）、『日本の20世紀芸術』（共著、平凡社、2014年）、『美術史の余白に 工芸・アルス・現代美術』（共著、美学出版、2008年）、『近代日本デザイン史』（共著、美学出版、2006年）などがある。

これまでに担当した企画展は「大阪万博 1970 デザインプロジェクト」（2015年）、「東京オリンピック 1964 デザインプロジェクト」（2013年）「越境する日本人 工芸家が夢みたアジア 1910s-1945」（2012年）など多数。

◆個人情報について

以下についてご同意の上、お申し込みください。

ご記入いただいた個人情報は、公益財団法人日本交通公社が定める個人情報の利用目的の範囲内で利用させていただきます。個人情報の取り扱いの詳細はホームページ (<https://www.jtb.or.jp/privacy-policy-001>) をご覧ください。

【「第6回たびとしよ Cafe」申込書】

たびとしよ Cafe 事務局 宛
(FAX:03-5255-6077)

申込日	(西暦) 年 月 日
①お名前(ふりがな)	
②ご所属・役職	(ご所属)
	(役職)
③電話番号	
④メールアドレス	
⑤講師への質問	